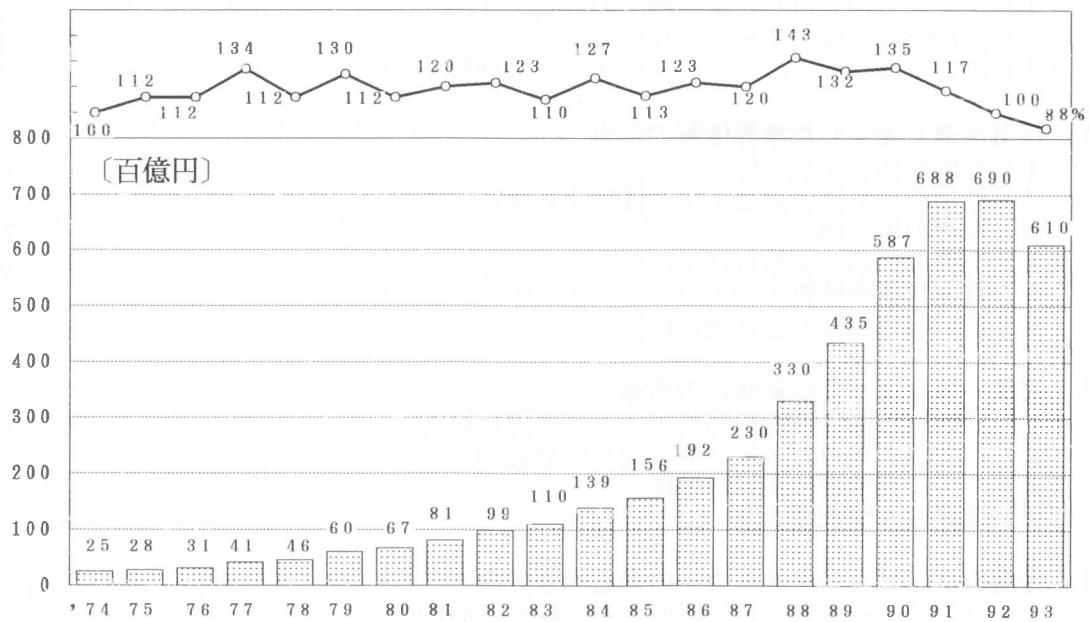


— まえがき —

情報サービス産業は1965年代の初頭に誕生し、コンピュータの普及とともに、ソフトウェア開発を初めとする各種サービスの供給源として順調な成長を遂げてきた。通産省の産業統計「特定サービス産業実態調査」によると1974年から10年間の成長率は、年間平均で20～30%の高い伸びを示し、「一兆円産業」の仲間入りをしている。更に、1987年に「二兆円産業」になってからは、年間30～40%と急速な成長を遂げ、1990年には「六兆産業」の一步手前に迫っている。しかしながら、その後の成長率は大きく鈍り、1992年の6兆9千億円をピークにマイナス成長の軌道を辿り始めている。

□情報サービス産業の20年の歩み — 通産省「特定サービス産業実態調査」 —



私は、このような急成長から急激な成長鈍化という激しい波に洗われた情報サービス産業に強く引かれるものがあり、そして、この産業の将来性を信じ、本文では、

- ①情報サービス産業の生い立ちと、その後の急成長
- ②そして、一転して構造不況業種になった原因
- ③産業構造の変化で先行したアメリカの状況
- ④通産省の産業構造改革提言と業界の対応
- ⑤この産業を支えてきたコンピュータ産業との関連
- ⑥これからの情報サービス産業の進むべき方向

の視点から、我が国の21世紀のリーディング産業に向けての提言をする。